

第14回エコパークかごしま安全監視委員会 会議概要

- 1 開催日時
令和4年10月19日（水） 午後2時から3時まで
- 2 開催場所
薩摩川内市（エコパークかごしま管理棟会議室等）
- 3 出席者
 - (1) 出席委員 10名（委員数 13名）
川永野自治会：有馬 純郎，有馬 茂
木場茶屋自治会：梶 行雄
百次大原野自治会：塘之口 勇，村尾 實
東大谷自治会：和田 岩男
学識経験者：北村 良介 鹿児島大学名誉教授（委員長）
樋口 壯太郎 福岡大学研究特任教授・名誉教授
本間 俊雄 鹿児島大学理工学研究科地域コトづくりセンター特任教授
薩摩川内市：奥平 幸雄 薩摩川内市市民福祉部環境課長
 - (2) 事業者
（公財）鹿児島県環境整備公社
 - (3) 事務局
鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課
- 4 会次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ア 廃棄物の搬入状況について
 - イ 埋立状況について
 - ウ 環境モニタリング実施状況について
 - (3) 埋立作業の実施状況確認（覆蓋施設内）
 - (4) 質疑応答
 - (5) その他
 - (6) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) （公財）鹿児島県環境整備公社から、廃棄物の搬入状況、埋立状況、環境モニタリング実施状況について概況説明を行うとともに、覆蓋施設内で委員が埋立作業の実施状況を確認した。
 - (2) 委員会として、「エコパークかごしま」が安全に稼働していることを確認した。
- 6 主な質疑応答
 - ・ 浸出水原水のカルシウム濃度が高い状態で推移しており、水処理施設の処理能力に影響があると思うが、どのように処理能力を担保しているのか。
→ 浸出水原水を処理する際は、浸出水原水のみではなく、浸出水処理にあたってのプロセス水など他の水が混合されており、浸出水原水が薄まった状態になるため、処理能力は担保されている。

- ・ 埋立地に沿ってフレコンバッグが並んでいるが、何か。
→ 埋立地の法面に沿って廃棄物の入ったフレコンバッグを置き、法面とフレコンバッグの間にシラスを入れることにより遮水シートの破損防止を図っている。

7 委員意見

- ・ 埋立期間の折り返し時点（7年9ヶ月）が経過したが、生活環境保全上の問題はなく、廃棄物の搬入も順調に推移していると思う。
- ・ 浸出水原水の水質も引き続き安定しており、埋立てた廃棄物が安定状態に近づいていると考える。
- ・ 廃棄物の埋立作業や水質管理等、施設全体がよく管理されている。
- ・ 当委員会としては、この施設が安全に稼働していることを確認した。

8 資料

- (1) 廃棄物の搬入状況について
- (2) 埋立状況について
- (3) 環境モニタリング実施状況について



第14回エコパークかごしま安全監視委員会

会 次 第

日時：令和4年10月19日（水）午後2時～

場所：エコパークかごしま管理棟会議室等

1 開 会

2 議 事

(1) 廃棄物の搬入状況について

(2) 埋立状況について

(3) 環境モニタリング実施状況について

3 埋立作業の実施状況確認（覆蓋施設内）

4 質疑応答

5 その他

6 閉 会

第14回エコパークかごしま安全監視委員会 出席者名簿

区分	所属・職	氏名	出欠	備考
委員	川永野自治会	有馬純郎	○	
	〃	有馬茂	○	
	木場茶屋自治会	梶行雄	○	
	〃	有馬文徳	×	
	百次大原野自治会	塘之口勇	○	
	〃	村尾實	○	
	東大谷自治会	福山達夫	×	
	〃	和田岩男	○	
	鹿児島大学 名誉教授	北村良介	○	
	福岡大学 研究特任教授・名誉教授	樋口壯太郎	○	
	鹿児島大学理工学研究科地域コトづくりセンター 特任教授	本間俊雄	○	
	鹿児島大学大学院 理工学研究科 教授	富安卓滋	×	
	薩摩川内市市民福祉部環境課長	奥平幸雄	○	

公社	(公財)鹿児島県環境整備公社 理事長	吉松孝二
	〃 専務理事兼事務局長	田島栄治
	〃 事務局次長兼総務課長	郡山研
	〃 業務課長	赤崎昭一
維持管理JV	大成・クボタ環境特定維持管理JV 総括責任者	鎌田励輝
	〃 水処理責任者	柁山卓弥
事務局	鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 参事(公共関与処分場担当)	大山剛
	〃 主幹	中間由香里
	〃 主事	瀬戸山旺子